

在留邦人の皆様へ

平成29年12月12日
在ザンビア日本国大使館

大使館からのお知らせ

ルサカ郡おけるコレラの流行

【ポイント】

現在ルサカ郡内の一部地域でコレラが流行しております。流行地域には近づかず、手洗い、うがいの励行や感染地域に居住している人との握手は極力控えて下さい。

ルサカ郡内の Chipata, Kanyama, Chawawa, Matero, Chilenje, Chelstone の各地区及び東部地方(Namayengo, Butaleja, Busia, Sironko, Kibuku) でコレラが発生しています。これらの地区は上水道の給水が不安定で、代替となる浅井戸等の水源でコレラ菌の汚染が確認されているようです。また一部上水道からもコレラ菌が検出されたとの報告もあり、いずれにしても安全な水の確保が困難な地区にコレラの発生が集中しています。

雨期を迎え、今後降雨後の冠水による環境へのコレラ菌汚染が、さらに拡大する恐れもあります。コレラは、コレラ菌に汚染された飲食物を口にすることによって感染します。予防のためには、不衛生な場所(路上屋台を含む)での飲食を避ける・調理や食事前の手洗いを励行する・飲食物は十分加熱するなど基本的な衛生習慣を心掛けて下さい。また疑わしい症状が認められた場合は、早めに医療機関を受診して下さい。

コレラの潜伏期間は数時間から5日間で、主な症状は下痢と嘔吐です。下痢は米のとぎ汁のような白色便になることもあります。発熱や腹痛はほとんどなく、頻回の下痢によって急速に脱水が進行し、意識障害やけいれんを起し、死に至ることもあります。

これまでの経過および関連事項は以下の通りです。

10月4日、ルサカ郡 Chipata 地区で今シーズン最初のコレラ症例が報告されました。

同月6日、保健省はコレラの流行を宣言しています。

同月9日以降 Kanyama をはじめ他の地区にもコレラの感染が拡大してきています。

11月28日現在の感染者数は、334例で10例の死亡が確認されています。

12月3日現在 WHO(世界保健機関)の発表では感染者数は432例で新たな死亡例は報告されておられません。

万が一、感染が疑われる場合は、かかりつけの医療機関にご相談下さい。

本件に関するお問い合わせ先
在ザンビア日本国大使館 領事・警備班(0211-251555)